

User Interview

(株)塩見組 専務取締役 **中川 隆弘氏**

今回は、九州地方を中心に、アースオーガのロックオーガ機、ドーナツオーガ機およびケーシング回転のCD機、スーパートップ機で、陸上工事と海上工事を行い、海上工事では杭の鉛直精度を良くするため、自己昇降台船(SEP)を使用し、ご活躍されている、株式会社塩見組の中川専務取締役を訪ねてインタビューしました。

記者： 貴社の岩盤削孔技術の概要をお聞かせ下さい。

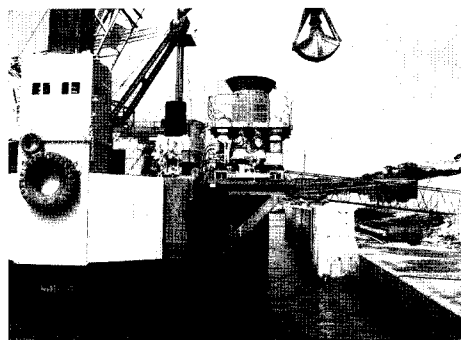
中川： 当社では、海上工事と陸上工事を行っており、共にロックオーガによる岩盤削孔と全周回転掘削機による岩盤削孔を行っております。

記者： 最近の工事で印象に残っている話をお聞かせ下さい。

中川： 全周回転掘削機による山間部の現場でした。

搬入路が狭いうえ勾配が15度以上のため、通常の搬入が出来ませんでした。クローラクレーンは自走、全周回転掘削機(RT-200A)においては三分割により15t以下にしての搬入でした。ケーシングφ2000mm削孔で鋼管杭φ1700の建て込み杭(外周モルタル・管内コンクリート)で掘削長L=54mのうち45mが頁岩・砂岩(MaxRQD95%)でした。

削孔におけるカッタービットの選択、削孔方法など入念に検討を行い培った技術を基に大きなトラブルや事故も無く、やり遂げる事が出来ました。



SEPでの施工状況

海上工事では、組立式SEPによる全周回転掘削置換え、鋼管杭打設工事でした。離島での工事のため重機や資材等を貨物船等で運搬し、現地でのSEP船組立・艀装となりました。現場は傾斜した捨石層にφ1500mmで約9mの掘削で、中にケーシング径程ある巨石も含まれていました。捨石への対応として対衝撃タイプのケーシングビットを選択、圧入速度の調整などを行い掘削する事ができました。



中川 隆弘氏

記者： 貴社が力を入れている事はありますか？

中川： 当社では特に安全面・人材教育に注力しています。安全面では、安全パトロールや自社工場での機械整備・部材の点検による災害の防止に努めています。人材教育では、OJT・OFF-JTによる専門技術・知識の向上を行っております。

記者： 最後に今後の展望についてお聞かせ下さい。

中川： 当社は、創業55年目を向かえその間培った技術を未来へ継承していき、最近多くなった専門工事業者としての技術提案等のニーズにも応えて、地域社会への貢献と業界発展へと社員一丸となって頑張っていきます。

記者： 大変お忙しい中、ありがとうございました。今後のますますのご活躍をお祈りいたします。

(株)塩見組 佐々木康行



SEPでの施工状況

官公庁関係情報

国土交通省関係 平成21年度予算

(1) 一般会計予算	
公共事業関係費	6兆2,629億円(対前年度1.19倍)
非公共事業	
・義務的経費等	3,602億円(対前年度1.01倍)
・その他経費	3,141億円(対前年度1.20倍)
合 計	6兆9,372億円(対前年度1.18倍)
(2) 財政投融资	2兆9,953億円(対前年度0.82倍)
(3) 財投機関債発行予定額	4兆7,347億円(対前年度1.11倍)

予算の重点化

安全・安心で豊かな社会づくり、地球環境時代に対応した暮らしづくり、地域の活力と成長力の強化の3分野における事業・施策を重点的に推進するとともに、各事業・施策分野においても、その目的・成果に踏み込んできめ細かく重点化し、限られた予算で最大限の効果の発現を図る。

1. 安全・安心で豊かな社会づくり

(1,000億円以上の事業・政策を示す)

- ① 地球温暖化に伴う災害リスクの増大への緊急的対応の強化 [1,207億円(1.48)]
- ② 社会資本ストックの戦略的な維持管理による安全・安心の確保とライフサイクルコストの縮減 [4,632億円(1.13)]
- ③ 高齢者が安心して暮らせる住宅セーフティネットの充実 [2,686億円(1.39)]
- ④ 歩行者や自転車に配慮した道路空間の再構築 [1,637億円(1.08)]

2. 地域の活力と成長力の強化

(1,000億円以上の事業・政策を示す)